

山形市公共交通活性化協議会

平成21年9月29日設置



概要

公共交通の利用者が減少し、生活交通バス路線も減少している中、今後高齢者等の交通弱者の増加が考えられることから、生活交通手段を確保するため、現況の把握・分析調査等を行い、また、公共交通利用者や交通事業者を混じえたワークショップで意見交換を行いながら、有効な方策を検討する。

○地域公共交通の現況

- ・鉄道：JR山形新幹線,奥羽本線,仙山線,左沢線(山形駅ほか10駅)
- ・路線バス：
山交バス(株) (市内平日運行数:54系統663運行)
- ・高速バス：仙台線,東京線,大阪線,新潟線,酒田線
- ・コミュニティバス：高瀬線 ・地域交流バス：南部線

○地域公共交通の課題

- ・山形市の公共交通の中心的役割を担う路線バスの利用者減少
- ・バス路線及び運行数減少に伴う、公共交通の不便な地域の出現

○調査の主な内容

- ・バス利用実態調査(平成21年11月実施)の分析
- ・市民公共交通利用実態調査の実施
- ・通勤・通学実態調査の実施
- ・公共交通活性化ワークショップの開催

○地域公共交通総合連携計画の策定

- ・利用者ニーズを反映させたバス路線の再編
- ・路線バスの利用拡大策の実施

